

中川 勲 議員（代表質問）

1 2021年度予算編成について

- (1) 最重点事業は何か。また新規事業はあるのか。
- (2) 経済状況が不透明な中、税収入が大幅に減少するのではないか。
- (3) 他市では財政状況が大きなテーマになっているが、当市の財政は大丈夫か。
- (4) 自然災害に対する強化事業は考えているのか。
- (5) 今年も決算特別委員会において今後改善を求める事項を提出したが、反映されているのか。

2 新型コロナウイルス感染防止策について

- (1) 第3波が来たのではと言われる中、どう対策をするのか。高齢者や基礎疾患がある人が感染すると重症化するという危険性があるとのこと。
- (2) 今後、新型コロナワクチンが日本でも接種できるとのことだが、費用とPRはどうなるのか。
- (3) インフルエンザと同時に流行する可能性があるとのことだが、どう対応するのか。

3 観光について

- (1) 来シーズンのほたるいか海上観光はキラリンのみで行うとのことだが、どうPRするのか。
- (2) 富山湾岸クルージングの実施は例年通り行うのか。
- (3) 行田公園にある蒸気機関車を整備中の中滑川駅前の一角に移動できないのか。

4 教育について

- ・ 東加積小学校の小規模特認校制度とはどのような学校になるのか。

5 市民の安心・安全について

- (1) 2021年1月10日に成人式が市民大ホールで開催されるとのことだが、大丈夫か。
- (2) 今年もツキノワグマが大量に出没したとのことだが、市内でどれくらい出没し、人に被害はなかったか。

古沢 利之 議員（代表質問）

1 新型コロナウイルス感染対策について

- (1) PCR検査の拡充
 - ・ 高齢者施設等の入所者、従事者の検査を検討されたい。
- (2) 医療、介護施設への追加支援を検討されたい。
- (3) 保育園、放課後児童クラブ等の従事者への支援を検討されたい。

2 農業政策について

- (1) 来年度の主食用米減産方針への考え方について
 - ・ 生産者の収入減が見込まれる。
- (2) 県は「富富富」を将来的に「コシヒカリ」に代わる主力品種と位置付ける方針を示したが、異論も出ているようであり、課題も多い。どう見ているか。

3 用水事故対策について

- ・ 県は昨年12月に「農業用水路安全対策ガイドライン」を策定した。
 - ア 近年の市内での事故件数は把握できているか。
 - イ ガイドラインに基づく対策をどう考えているか。具体策を問う。

4 教員の負担軽減について

- ・ 先日の報道では、残業時間の上限時間45時間を超える中学教員が70%を超えるなど改善が進んでいない実態が明らかになった、とされている。
 - ア 市内での実態はどうだったか。
 - イ 軽減への取り組み状況はどうか。

青山 幸生 議員（一般質問）

1 通学路の安全について

- (1) 学校関係者、道路管理者及び滑川警察署等と市内道路等の合同点検の進捗及び改善状況は。
- (2) 市道有金上島線の歩道整備について、上島、デザイン上梅沢、上梅沢、有金町内会の説明状況は。
- (3) あんぜんmyマップを保護者へ浸透することで危険箇所を把握できないか。

2 滑川市個別施設計画について

- (1) 管理計画は計画期間を令和12年とし、概算対策費用は4億3,429万円と見込んでいる。どのように見積りをしたか。
- (2) 人口動態と市の公共施設の在り方について見解を伺う。
- (3) 公共施設の維持班をつくれぬか。

3 海岸ゴミについて

- (1) 漂着ゴミの回収されたもののうち、約8割は陸から流れ着いたものと認識していると思うが、今回の河川実態調査の詳細はどうか。
- (2) 令和元年12月定例会では海岸にごみボックス設置を提案した。設置をして大々的に環境に関する式典を催してはどうか。

4 中滑川駅周辺地区整備事業について

- (1) 1階のピロティへの自然光を多く取り入れるために吹き抜けにしたと聞いているが、どうしても自然光を取り入れる理由は何か。

(2) 山側、前面道路に駐車場を設けることへ変更された。利便性の考慮とは何か。

角川 真人 議員（一般質問）

1 介護報酬改定により予想される問題について

- (1) 昨年12月に示された素案によると、補足給付の細分化を行うことにより、特養や老健などの利用者の自己負担が増加する見込みとなっている。滑川市内の施設において、これに該当する方はどのくらいとなるのか。
- (2) 負担増を理由にサービスの利用ができなくなる事態を防ぐために、施設利用者に対する食費、居住費の補助を考えられないか。

2 コロナ禍において医療崩壊を起こさないための手立てを

- (1) 滑川市内にある医療機関の運営状況はどうか。
- (2) 市内唯一の公的病院である厚生連滑川病院を支えるために、緊急の支援は考えられないか。

3 市道滑川駅前区画25号線について

- ・ 特に花火大会の時に人が多く集まる道路だが、段差や破損が見られ危険である。積雪時にはひび部分に入った雪などで凍結も見られ、転倒やスリップの危険もある。整備を行えないか。

浦田 竹昭 議員（一般質問）

1 千鳥スキー場の土砂搬入について

- (1) 千鳥スキー場の行政財産施設の改良としての土砂搬入の事業名、目的、内容について
- (2) 千鳥スキー場の土砂搬入による改良事業の設計書、縦横断図等施工完成図の有無について
- (3) 千鳥スキー場の総面積は、施工後の土量高さの最大・最低・平均は、盛り土整地後の斜面傾斜勾配の最大・最低・平均は、そして搬入盛り土予定の土砂容量について
- (4) 千鳥スキー場の土砂搬入、盛り土、整地、一連の施工完了予定期日について
- (5) 集中豪雨等災害時対策としての土砂崩壊防止対策等について、例えば、急斜面、緩斜面での土砂崩壊防止柵や、土砂流失防護壁等の施工、そして保守点検修繕通路としての踊場施工について。併せて、万一、土砂崩壊流失の災害が発生した場合の対応について
- (6) 土砂搬入、盛り土、整地、施工完了後の、斜面・法面の後処理について。例えば、法面保護のための防草シート敷設、法面植生施工等について
- (7) 盛り土、整地整備完成後の、千鳥スキー場の利活用について
- (8) 土砂搬入運搬による事故防止、交通安全対応について

2 厚生連滑川病院の分娩休止について

- (1) 厚生連滑川病院の分娩休止に至る、当市と厚生連滑川病院との話し合いの経緯、並びに分娩休止は何時からか。
- (2) 人口減少、少子化の観点、子ども第一主義、妊娠から出産・育児まで一連の子育て施策の観点から、分娩休止の影響について

- (3) 分娩・出産の拠点としての位置づけとして、市の更なる助成・援助・支援、並びに交渉による医師人材の確保による、分娩の再考について
- (4) 今後、市内の妊婦さん、並びに里帰り出産の妊婦さんたちは、どこで分娩されたらよいのか、また情報の周知について
- (5) 人口減少対策の根本は、市内での妊娠・出産・育児・育成の一連のシステム構築と実施にあると思うが見解は。

3 地域の魅力を活かしたまちづくりについて

- ・ 第5次 滑川市総合計画 基本構想・前期基本計画と滑川商工会議所から提出された令和3年度滑川市行政施策に対する要望に関連して。
 - ア 中山間地域のレジャー施設並びに自然環境等資源を活用した観光振興について。例えば、みのわ温泉テニス村、東福寺野自然公園等の施設、並びに歴史的遺産の蓑輪城跡地の整備、先人の築いた室山野用水、そしてそれらを結ぶ自然歩道の整備について
 - イ 中山間地域の活性化としての、産業振興と定住促進への支援施策について

4 犯罪被害者への支援について

- (1) 犯罪に遭遇した被害者の境遇、身上、状態等の現状の認識についての見解は。
- (2) 犯罪被害者等の権利利益の保護を図るための、当市独自の被害者支援条例の制定についての見解は。
- (3) 犯罪被害者等の具体的な支援施策についての見解は。

竹原 正人 議員（一般質問）

1 プレミアム付商品券発行事業について

- (1) 今回のプレミアム付商品券発行事業は前回7月発行のものより、発行枚数が多いが利用期間が短い。7月発行のプレミアム付商品券の販売実績と利用実績を踏まえての判断なのか。
- (2) 今回のプレミアム付商品券の利用期間は来年3月21日までと伺った。年度末ギリギリに使えないのなら、ゴールデンウィークまで利用できるよう、利用期間の延長を考えていないのか。

2 ケーブルテレビのF T T H化整備について

- (1) 今定例会で、光ファイバー整備推進事業負担金が計上されている。市内F T T H化は、2021年度中に完了すると伺っているが各家庭への引き込み等、計画はどうなっているのか。
- (2) 第5次滑川市総合計画基本構想・前期基本計画の中では、滑川市をとりまく現況に、技術革新の進展がうたわれている。市として、5Gと言われる、I C T、A I、I O Tをどう活用して、スマート自治体としていくのか。

3 観光振興について

- (1) 今シーズンのほたるいか海上観光は中止となったが、来シーズンはキラリン1隻での実施と発表された。県外観光客が多く占めるこの事業を進める根拠は。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策を行っていても、無症状の観光客が訪れていれば、後になって感染拡大が懸念される。大丈夫なのか。
- (3) ゴールデンウィーク中の富山湾岸クルージングの開催はできるのか。

4 除雪について

- (1) 市長提案理由説明では、今冬の道路除排雪については、道路交通に支障をきたさないよう、機動的で効率的な雪処理を基本とする除雪計画の策定を終えたとあった。本当に機動的で効率的な除雪計画なのか。
- (2) 9月定例会で、除雪は市内業者の協力で成り立っていることを考えれば、配慮が必要ではないかと質問したが、今シーズン以降の配慮を伺う。
- (3) 来シーズン以降、余力のある業者、やる気のある業者についても、担当路線の見直しなど考えていかなければならないと考えるが、見解は。

5 G I G A スクール構想について

- (1) 児童・生徒への1人1台の情報端末が整備され、今後は活用していかなければならない。G I G Aスクールサポーターを活用しながら、最終的には教員が使いこなせる環境を早急に進めなければならないと考えるが、見解は。
- (2) 土曜授業の日程を活用して、外部講師等に端末を使った応用学習などを進めて、児童・生徒が、より端末を使いこなせる環境を提供することが、端末を使いこなせない教員への配慮でもあると考えるが見解は。

大浦 豊貴 議員（一般質問）

1 令和3年度予算編成及び市長施政達成度・今後の考えについて

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響は、経済・社会・人々の行動・意識・価値観まで多方面に波及し、これまで経験したことのない国難ともいべき局面に直面したとされる。国においても閣議にて財務大臣から「施策の優先順位の洗い直し、無駄を徹底して排除しつつ、予算の中身を大胆に重点化すること」としていることから、今後地方財政は、地方交付税はじめ、国の政策・制度変更をより注視していく必要がある。未知の感染症への対応と対策の実施、滑川市総合計画に基づく取り組みに向け、限られた財源の重点的・効率的な配分の説明を含め、令和3年度予算編成方針を問う。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策では、令和2年度補正予算にて国からの交付金や財政調整基金の取り崩しにより、財源確保を行い対応してきたが、令和3年度緊急的な財政出動の財源について編成の考えはどうか。
- (3) 平成30年3月定例会では1期・2期目いずれも80項目にわたる政策提案をマニフェストに掲げ、政治は形とし市民の目で確認できることを地方自治の基本として、「これまでの時間の中で手つかずのものや、取り残されてきたものを埋めていくことが前2期の重要政策であった。大体8割5分ほどは消化してきた。」と説明があった。今3期目は40項目のマニフェストを掲げ、当初の各政策は、確かに形となって市民の目で確認できるものとするが、施政達成度について問う。
- (4) 上田市長今任期終了も迫るなか、市民からも来期に対する上田市長の考えに関心が高まっており、さまざまな憶測だけが流れているような状態である。各自治体首長の表明時期は半年・3か月前に行われることが多く、慣例のようにもなっているが、各個人の判断によるものと思われる。上田市長の表明の有無・時期等に対して現在の考えについて問う。

2 市議会議員選挙と市長選挙同時選挙の実施について

- (1) 本市は市議会議員と市長の任期満了日の間隔に、87日のずれがあり短期間のうちに複数回の選挙を行うこととなっている。市民負担・選挙事

務量及び選挙執行経費負担など、非能率的であると考え。現在、秋と冬に分かれた市議会議員選挙と市長選挙の同時選挙が実施されれば投票率の向上による市政への民意の反映・市民の利便性向上・効率的な選挙執行等のメリットが考えられるが、見解を問う。

(2) 公職選挙法第259条の2において「地方公共団体の長の職の退職を申し出た者が、この申し立てにより執行された選挙で当選人となった場合、当該選挙がなかったものとみなす」また、第34条の2では特例措置として、地方公共団体の議会の議員の任期満了の日が当該地方公共団体の長の任期満了の日前90日に当たる日から長の任期満了の日の前日である場合は、同条で定める期間内において、同時選挙を実施できることとされ、本市の場合これに該当はするが、選挙可能な期間が1月3日から1月16日までの間となることや、11月28日から選挙までの間、議員が約2カ月間不在となること等が考えられるが、現行の法の規制のなかで、同時選挙を可能とする見解について問う。

(3) 平成24年に埼玉県所沢市と神奈川県鎌倉市が、所沢市長選において市議選との同時選挙を公約で掲げた市長候補が当選したこともあり共同で、法第259条の2の規定について構造改革特区制度の規制改革の提案を三度提出したが、総務省より対応は困難と結論が示された。本市においては、平成22年・平成24年に開催された市長と語る会において、「市長選と議員選を一緒にすれば1,500万円浮くので、市長選を3カ月早めてほしい。」との提言に対し「横浜市長が任期前に辞めた理由は、新市長が新年度予算を組めるようにするためであったように、市長の交代時期は早くしないと上手な行政の流れにならないと思います。詳しく研究してみます。」と回答があるが、私もこれからの行財政の不透明な点や当初予算編成へスムーズに市政への民意を反映していくことが、重要と考える。現在の市長の考えはどうか。

3 中滑川駅周辺整備について

(1) 施設内の計画では、新たな賑わい創出拠点と位置づけ、飲食店や物販店など複数のテナントを予定している。しかし現在、新型コロナウイルス関連倒産で、業界別で最も多いのが飲食業界であり、倒産や廃業数はさらに増えていくと予測されている。また、富山労働局からも今後の見通しについて政府の需要喚起策Go toキャンペーンに下支えされていた飲食業を中心に先行きが見通せない状況と発表され、現在の社会情勢の中では、建設スケジュールが先行し、テナント契約が間に合わないことや業態の持続性にも問題点等考えられるが、見解及び募集に関する進捗

を問う。

- (2) 新型コロナウイルス感染症による感染拡大以前に考えられていた都市計画マスタープランによる都市形成の方向性は、変わっていくのではないかと。国土交通省も新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性について都市政策の在り方や、方向性・自然災害から感染症を含めた複合災害への対応等を踏まえた事前防災まちづくりの新しい方向へ舵を切ろうとしている。防災面、賑わい創出ともに、人々の行動様式を注視する必要もあり、見通すことが難しいと考えるが、見解を問う。
- (3) 周辺オープンスペースの柔軟かつ多様な活用に対する具体的な考えについて問う。

4 小規模特認校について

- (1) 東加積小学校の小規模特認校による令和3年度新入生の募集について11月30日から12月9日を募集期間に実施したが、応募結果はどうか。また、すでに市内の小学校に就学している児童の転学希望の連絡はあるか。
- (2) 児童の心身の健康増進を図り、豊かな人間性を培い、小規模特認校の特性を活かし、地域と連携した教育活動を推進するとともに、学校の活性化を図ることを目的にしているが、市内その他小学校との地域と連携した教育活動の違いは何か、及び学校の活性化を図る目的の趣旨について説明を求める。

5 永代地上権について

- ・ 内閣府も全国的な規制改革の実施は、さまざまな事情により進展が遅い分野がある現状であることから、「規制は全国一律でなければならない」という考えから、地域の特性に応じた規制を認めるという考え方の転換を理念とし、地方公共団体や民間事業者の立案により、規制の特例を導入する構造改革特区を設け、地域の自発性の下、構造改革を進めるとしている。永代地上権に関するアクションプランとして検討してはどうか。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 環境について

- (1) 滑川市通学路安全合同点検の体制について
 - ・ 11月18日に新しく完成する県道富山滑川魚津線と市道有金下梅沢線の交差点での点検があった。このような点検には町内会長や保護者などは立ち会わないのか。普段の生活が見えない。
- (2) あずま保育所遊戯室の空調設備について
 - ・ 遊戯室は床暖房が施されているが、暑さ対策ができていないのではないか。近年、異常な暑さの中、熱中症予防の意識はどうか。
- (3) 図書館の3階催事室の空調設備について
 - ア 利用が少ないので設置しないのか。年間どれほどの会場利用があるのか。
 - イ 耐震補強工事後の中央階段や図書館カフェも大人気と聞いている。3階でのせつかくの催しにお勧めできないのでは。
 - ウ 冷暖房の改修時になぜ3階だけを除いたのか。後付けはできないのか。

2 健康管理について

- (1) コロナ禍の中での成人式について伺う。
 - ア 滑川市は新型コロナウイルス感染症対策のため入場者の制限をすることだけで防げるのか。どのような手法か。
 - イ 全国では、PCR検査を受けて参加する市もあると報道されていた。費用は市が負担するということである。当市も考えられないか。
 - ウ 新成人は若者ばかりで、県外からの帰省も考えなければならない。2週間前に滑川市に入って、外出を自粛してもらうよう市から願ひする考えは。
 - エ 1階に成人者が並ぶと考えるが、密にならないだろうか。午前と午後中学校単位で分けて行えばどうか。
 - オ お招きする成人者の方のために、パイプイスをアルコール消毒をして準備をするなど、万全の態勢を取ってほしい。
- (2) 健康診査の窓口拡大について
 - ア コロナ禍の中で胃カメラの受付が大変少なくなっていると思うが、

現状はどうか。

イ 婦人科の検診が非常に受診しにくい。今後どのような対策をとっていくのか。今後の対応は。

ウ 胃カメラと婦人科（子宮がん・乳がん）を富山県健康増進センターで受診できないか。契約はできないのか。

3 第5次総合計画の中から

(1) 基本構想・前期基本計画の中から、2学校教育の充実の④児童の人権にかかわる・・・の中で、道徳教育の強化や望ましい人間関係の醸成に努めるとあるが、現状把握をしてこの文言を入れたのか伺う。

(2) 人を大切に思う気持ちの雰囲気づくりをどこから作りだそうと考えているのか伺う。先生と生徒・児童の間には、素晴らしい関係もあり、最悪の関係もあると聞いている。大人の言葉や態度で子どもが受け取る気持ちが変わると思われるがどうか。学校の中が一番『あぶない』のでは。

4 東福寺野自然公園研修センター青雲閣について

・ 東福寺野自然公園の青雲閣並びに体育館の進捗状況を伺う。

ア 特命担当が誕生されて、もうすぐ3年になる。青写真だけでもできているのか。

イ 木造なのか、鉄筋なのか。建設場所の選定はどうか。

ウ 今年コロナの関係で利用が少ないと思うが、この後の利用を考えると、耐震補強の工事もされていない中で、たくさんの皆さんを安心して受け入れることもできない状態を早く解消してもらいたい。

エ 現在は71人の収容人員と聞いているが、今、コロナなのでゆったりとした間取りであったり、温浴設備も事務所でコントロールできるようにしてもらいたい。後世に負担にならないように、シンプルイズザベストであってほしい。

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 教育について

- (1) 本市におけるGIGAスクール構想を実現するにあたり、教育長として何が一番重要と考えているか。
- (2) ICTに関する資質・能力の向上を図るための教職員の研修について
- (3) 授業における教員のICT教材の選択の自由について
- (4) ICTサポーターの配置を充実させるべきではないか。
- (5) 教員の負担減につながるデジタル化への取り組みについて

2 防災について

- (1) 住宅用火災警報器の置き換え時期に来ているが、一酸化炭素を検知する機能がついた複合型の警報器を推奨していくべきではないか。
- (2) 消防署のドクターヘリのランデブーポイントの舗装整備について
- (3) 防災情報の発信にラインを活用してはどうか。

3 まちづくりについて

- ・ 平成20年に創設された、まちなか再生事業の「市街地空き地空き家活用支援事業」の対象業種が小売業と飲食店とあるが、創設から12年を経過した今、見直すべきではないか

4 環境について

- ・ 第3次滑川市地球温暖化対策実行計画の策定時期が来ていると思うが、国が目指す「脱炭素社会」に沿ったものになるのか。

脇坂 章夫 議員（一般質問）

1 東加積小学校の小規模特認校制度について

- (1) 制度の導入への経緯は。
- (2) 制度の発表の際、関係ヶ所でどのような質問があったか。
- (3) 東加積地域での説明会を開催する予定はあるのか。

2 新型コロナウイルス感染について

- ・ 年末年始、進学、就職、転勤等で大移動が予想されるが対策はどうか。

3 フードドライブについて

- (1) 現在までの提供物資の状況は。
- (2) 受付期間について、延長は考えられないか。
- (3) 寄附を受けた方からの要望等はあるか。

4 富山県知事選挙について

- ・ 新田八朗氏支持への即断即決は。